



目次

鳥類確認種

ウミウ	1 p
ハイタカ	1 p
シロチドリ	2 p
トウネン	2 p
ハマシギ	3 p
キアシシギ	3 p
イソシギ	4 p
オオセグロカモメ	4 p
カモメ	5 p
ウミネコ	5 p
ハクセキレイ	6 p
イソヒヨドリ	6 p

とり図鑑

●種名● ウミウ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本では北海道、本州北部、本州中部から九州の日本海沿岸で繁殖し、冬は全国的に見られる。

●形態●

全長約84cm。翼開帳約137cm。頭から頸、旨、腹、尾は黒くて光沢があり、背と雨覆は緑色で羽縁は黒い。

●習性●

外海に面した沿岸の岩場や島にとまり、多くは群れを作っている。

●繁殖●

外海に面した海岸の断崖や島の岩の上に、枯枝、枯草、海藻などを使って皿形の巣を作り、5-6月に卵をうむ。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● ハイタカ



●写真●

●分布●

日本では本州以北で繁殖し、留鳥または漂鳥である。

●形態●

全長雄約32cm、雌約39cm。翼開帳62-76cm。雄の頭上から背、尾は暗青灰色で後頸には白斑がある。

●習性●

低山帯の林にすみ、秋冬には、平地の農耕地や市街地の上空を飛ぶのも見られる。

●繁殖●

本州中部以北の低山帯で繁殖する。高い木の枝上に営巣する。枯枝を主材として皿形の巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● シロチドリ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では九州以北で繁殖し、多くは留鳥である。

●形態● 全長約17.5cm。雄では額から眉斑は白く、前頭は黒色、頭頂から後頭は橙色を帯びた灰色。後頸は白い。

●習性● 海岸の砂浜、河口の干潟や三角州、埋立地の砂地、広い川の下流から中流の中洲や川原にすむ。

●繁殖● 海岸や川原の砂にへこみをつくり、小石や貝殻を敷いて巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● トウネン

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本には旅鳥として普通に渡来する。

●形態● 全長約15cm。嘴がやや太い小さなシギ。夏羽では嘴の根元は白く、頭上から顔、頸、胸は赤褐色。

●習性● 海岸や河口の干潟や入り江、海岸に近い水田やはす田、川の岸や中洲、砂浜などにすむ。

●繁殖● 日本では繁殖しない。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名●

ハマシギ

●写真●



●分布●

日本には冬鳥または旅鳥としてふつうに渡来する。

●形態●

全長約21cm。嘴はやや長くて少し下に曲がっている。夏羽では頭上は赤褐色で細い黒褐色の縦斑がある。

●習性●

海岸や河口の干潟、三角州、海に近い水田、埋立地の水たまり、入り江、広い川の岸や中洲などにすむ。

●繁殖●

日本では繁殖しない。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名●

キアシシギ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本には旅鳥として多数渡来する。

●形態●

全長約25cm。夏羽では頭上から後頸、背、肩羽、腰、尾は灰黒褐色。

●習性●

渡りの時には海岸や河口の干潟、入り江、三角州、砂浜、岩の多い磯、広い川の中州や岸などにすむ。

●繁殖●

日本では繁殖しない。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名●

イソシギ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本では北海道と本州で繁殖し、九州でも最近繁殖例が発見された。

●形態●

全長約20cm。頭上、後頸、背、肩羽は灰黒褐色で細い縦斑があり、腰、上尾筒は灰黒褐色。

●習性●

繁殖期には内陸の湖岸、川岸などにすみ、非繁殖期には海岸の磯、防波堤のすそなどにも出現する。

●繁殖●

広い川原や中洲の地上に営巣する。地上に浅いへこみをつくり、枯草や枯葉を敷く。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名●

オオセグロカモメ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本では主として北海道で繁殖する。冬も北海道に残るものが多い。

●形態●

全長約61cm。翼開帳約135cm。背、肩羽、翼の上面は灰黒色。冬羽では頭部に褐色の斑点がある。

●習性●

夏は海岸や島の断崖、草生地などにすみ、海岸の砂浜、河口の干潟、入り江、漁港などでえさをあさる。

●繁殖●

断崖や島の草生地に集団で繁殖する。地上の枯葉、海藻、羽毛などを敷いて皿形の巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● カモメ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本には冬鳥として渡来する。

●形態● 全長約44.5cm。翼開帳約115cm。背、肩羽、翼の上面は灰色。冬羽では頭部に褐色の斑点がある。

●習性● 海岸、港湾、河口などにすみ、ウミネコ、ユリカモメなどと一緒にいることが多いが、それらより数は少ない。

●繁殖● 日本では繁殖しない。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● ウミネコ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では留鳥として一年中見られる。北海道から九州までの各地に集団繁殖地がある。

●形態● 全長約46.5cm。翼開帳約120cm。背、肩羽、翼の上面は青灰黒色。冬羽では頭部に褐色の斑点が生じる。

●習性● 繁殖期には繁殖地の島の近くにすみ、海岸、海上、水田などで、魚、両生類、イカ、昆虫などを食べる。

●繁殖● 島の岩上、草地、低木林などに集団で繁殖する。小枝、草茎、海藻、羽毛などで皿形の巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● ハクセキレイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では九州以北で繁殖する他、冬鳥として多数渡来し、冬は本州以南にふつうにみられる。

●形態● 全長約21cm。雄の夏羽で額は白く、頭頂から後頭、背、上尾筒は黒色、尾も黒くて最外側の2対は白い。

●習性● 海岸、河口、広い川の岸や中洲、水田など、低地の水辺にすむ。

●繁殖● 地上のへこみ、人家の隙間、川原の石の下などに、枯草、小枝、細根を使って皿形の巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）

とり図鑑

●種名● イソヒヨドリ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本ではほぼ全国の海岸や島に分布し、本州以南では留鳥である。

●形態● 全長約25.5cm。雄の頭部、背から上尾筒までの上面、のどから胸は青藍色。

●習性● 主として岩や断崖のある海岸や島にすみ、北海道のものは冬、移動するが、多くの地方では留鳥である。

●繁殖● 岩の割れ目、土手の穴の中、人家の隙間などに、枯草や細根を使って皿形の巣を作る。

出典：日本産鳥類図鑑（東海大学出版会）